

## ガンカモ類の個体数の継続的調査 モニタリングサイト 1000 ～ 2004 年度の報告と課題

企画者：村井英紀(日本鳥類保護連盟)・呉地正行(雁を保護する会)

共催：JOGA7(東アジアガンカモ類重要生息地ネットワーク支援鳥類研究者グループ)

JOGA については→以下参照 <http://www.jawgp.org/onet/jgprop.htm>

環境省主催のモニタリング 1000 の計画が 2004 年度より開始され、ガンカモ類、シギ・チドリ類、陸鳥類、海鳥類などの鳥類について、継続的な調査が開始された。ガンカモ類のモニタリングは、国内の湖沼や河川などの湿地の質的变化を長期的にモニタリングする観点からも重要であると考えられ、日本鳥類保護連盟・雁を保護する会や各地の観察者の協力で調査が開始された。

本自由集会では 2004 年度調査として得られた結果の概要を報告し、今後の課題を整理する。

実際に調査を実施してみると、連絡体制の不備などから、当初の計画の意図が各地の観察者に伝わらずに、順調に行っていない部分が多くでてきた。

とりまとめ担当者よりどのような問題点がでてきているかを紹介し、今後の調査を円滑な実施するため、皆様のお知恵を拝借して検討したいと考えている。

村井英紀

モニタリング 1000 の全体的な目的の説明

ガンカモ類のモニタリング 1000 の計画の概要

2004 年度(2004-2005 年)調査結果の報告

2004 年度において判明した問題点

呉地正行他

問題点解決のための提案